

公益財団法人徳島県農業開発公社 平成28年度事業報告書

[I] 理事会・評議員会等の開催状況

1 理事会を次のとおり開催しました

事 項	開催年月日等	議 事
通常理事会	平成28年 5月23日	第1号議案 「平成27年度事業報告の承認について」 第2号議案 「平成27年度収支決算の承認について」 第3号議案 「理事の選任について」
臨時理事会	書面表決 H28年6月	第1号議案 「業務執行理事の選定について」
通常理事会	平成29年 3月28日	第1号議案 「平成29年事業計画(案)の承認について」 第2号議案 「平成29年収支予算(案)の承認について」 第3号議案 「平成29年度農地売買支援事業の資金調達について」

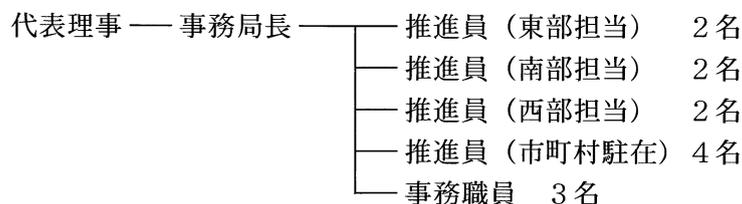
2 評議員会を次のとおり開催しました

事 項	開催年月日等	議 事
臨時評議員会	書面表決 H28年4月	第1号議案 「評議員の選任について」 第2号議案 「理事の選任について」
定時評議員会	平成28年 6月1日	第1号議案 「平成27年度収支決算の承認について」 第2号議案 「理事の選任について」 報告事項 「平成27年度事業報告について」

[II] 農地中間管理事業

農地の有効活用の促進や農業経営の効率化を進める担い手への農地集積・集約化を進めるために、農地中間管理機構の体制を強化するとともに、県内市町村や関係団体との連携を図りながら、農地の貸付者及び借受者の掘り起こし、マッチング等を実施しました。

1 推進体制



○市町村への業務委託

- ・ 上記の推進体制のもと、農地の貸借等についての相談、受付、農地の出し手と借り手との調整、事務手続き等の業務を24市町村に委託等により依頼した上で、連携して推進しました。
- ・ 委託市町村数及び委託金額
15市町村：20,370.8千円（その他9市町は市町単独予算で対応）

2 推進員等の活動実績

推進員は、担い手農家への農地集積に向けて、農地の貸付者及び借受者の掘り起こし、ニーズ把握、相談（来所・電話）に対する対応を行ったほか、市町村、担い手農業者、土地改良区、JA等と推進に向けた協議等を行い、連携を図りながら事業を推進しました。

主な活動実績は次のとおりです。

内 容	回 数	対 象 者
①市町村主催事業説明会で説明	37回	農業者、農地所有者等
②事業推進に係る市町村との協議	130回	市町村職員、県支援センター職員
③事業推進に係る農業者等との協議	132回	農業者、改良区・JA役職員
④担い手農家等を個別訪問	519回	農業法人、集落営農組織、大規模農家等

3 重点実施区域での取り組み等

核となる「集落営農組織」、「大規模経営体」等が存在している地域や、ほ場整備実施済み地域など、まとまった形での集約化が期待できる地域を「重点実施区域」として指定し、県・市町村と連携を図りながら事業を推進しました。

市 町 村 名	重点実施地区名	推 進 対 象 等	指定年度
徳 島	国 府	集落営農組織	26
小松島市	坂 野	大規模経営体	26
	立江・櫛漕	大規模経営体	26
阿南市	見能林	大規模経営体	26
	新 野	大規模経営体 集落営農組織	28
	長生西部	ほ場整備実施予定地	28
吉野川市	川田西	集落営農組織	26
阿波市	市 場	大規模経営体	26
	林	基盤整備事業実施中	28
美馬市	重 清	ほ場整備実施予定地	26
三好市	馬 路	集落営農組織	26
勝浦町	沼 江	担い手農家ほか	27
上勝町	神田・中村	担い手農家ほか	27
佐那河内村	菅沢・寺谷	担い手農家ほか	27
石井町	藍 畑	担い手農家ほか	27
神山町	川 東	担い手農家ほか	27
那賀町	百 合	担い手農家ほか	27
牟岐町	辺 川	担い手農家ほか	27
美波町	西河内	大規模経営体	26
	赤 松	担い手農家ほか	28
海陽町	穴 喰	大規模経営体	26
板野町	栄	担い手農家ほか	27
上板町	七 條	担い手農家ほか	26
つるぎ町	太 田	担い手農家ほか	27
東みよし町	昼 間	集落営農組織	27

4 広報活動の状況

農地中間管理事業は、平成26年3月に施行された「農地中間管理事業に関する法律」に基づき実施されていますが、まだ全ての農業者に制度が浸透していないことから、公社ホームページにおける周知、借受希望者の公募に併せた周知用リーフレットの配布や新聞広告等により、農地の貸付・借受等呼びかけました。

種類	部数等	配布詳細
周知用リーフレットの作成・配布	26,900部	県内市町村（広報誌に添付、個別配布等）を通じて個別配布
	8,118部	J A窓口で配布（15JA）
	6,089部	土地改良区を通じて配布（52土地改良区）
新聞広告	3回 (全5段モロコ)	7月4日：徳島新聞（出し手・受け手向け） 10月31日：徳島新聞（出し手・受け手向け） 2月8日：徳島新聞（出し手・受け手向け）
広報誌への掲載	_____	市町村、農業員会、土地改良区等の広報誌及び機関誌へ周知用記事の掲載依頼を行った

5 平成28年度における農地の借受及び貸付希望状況について

(1) 貸付希望農地の募集及び受付について

- 市町村農政担当課及び農業開発公社で随時受け付けています。

(2) 農地の借受希望者の公募及び受付について

- 募集期間を設定し、かつ、各市町村の意見を聞いた上で、3回の公募を行いました。受付は市町村窓口及び農業開発公社で行っています。

○第1回（平成28年7月1日～7月31日：24市町村）

（一部市町村は平成28年6月1日～9月30日）

○第2回（平成28年10月1日～10月31日：23市町村）

○第3回（平成29年1月15日～2月14日：24市町村）

(3) 借受及び貸付の応募(受付)状況

平成28年度実績

借 受 希 望		貸 付 希 望	
経 営 体 数	面 積 (h a)	所 有 者 数	面 積 (h a)
174	341	419	140

(4) 貸付希望者から借り受けた上で、担い手へ貸し付けた件数及び農地の面積

28年度実績		28年度当初計画	
件 数	農地面積 (h a)	件 数	農地面積 (h a)
147	106.8	1,000	500.0

[Ⅲ] 農地売買支援事業

1 農地の売買及び貸借

担い手農家等の経営規模の拡大等を促進するため、農用地を買い入れた上で売り渡したほか、農作業の受託などにより、規模拡大を図る担い手への融資事業を行った。

(1) 規模縮小を図る農業者等から農用地を買い入れ、規模拡大を図る農業者へ売り渡し

区 分	28年度実績			28年度当初計画		
	件数	面積 (㎡)	取得価格 (千円)	件数	面積 (㎡)	取得価格 (千円)
買い入れ	2	4,115	24,869	5	12,000	36,000

区 分	28年度実績			28年度当初計画		
	件数	面積 (㎡)	取得価格 (千円)	件数	面積 (㎡)	取得価格 (千円)
売り渡し	3	9,554	14,069	5	12,000	36,000

(2) 農地の借り入れにより規模拡大を図る農業者に代わり、賃貸人(所有者)に対し賃料相当額(6年～10年)を一括前払いし、毎年担い手(借り手農家)から収納する

区 分	28年度実績				
	件数	面積 (㎡)	前払金額 (千円)	収納額 (千円)	前払金残高 (千円)
新規貸付	0	—	—	—	—
継続貸付	4	8,959	(2,180)	578	256

() は 25 年度以前の貸付金額

2 農作業受託

農作業受託の拡大を通じて規模拡大を図る農家に対して、農作業受託料の5カ年分に相当する額を無利子融資

区 分	28年度実績				
	件数	面積 (㎡)	貸付金額 (千円)	収納額 (千円)	貸付残高 (千円)
新規貸付	0	—	—	—	—
継続貸付	2	260,690	(16,000)	3,200	6,800

() は 25,27 年度の貸付金額

[IV] 青年農業者等育成センター事業

徳島県青年農業者育成センターとして、就農相談等に対応したほか、次代を担う優れた新規就農者の育成・確保を図るため、東京及び大阪で実施された「新規就農フェア」等において、就農関連情報の提供や就農・就業（農業法人への就職等）相談、就農研修資金の説明等を行いました。

なお、業務の実施に際しては、農業関係法人のネットワークを有し、農業全般に精通した徳島県農業会議に業務の一部を委託した上で実施しています。

1 公社窓口における就農相談実績

就農相談件数	相談内容
122件	新規就農支援策 法人での研修及び雇用 農地及び住居の確保 就農資金について等

2 県外における新規就農促進活動

開催日	開催場所	相談内容・対象者
平成28年6月4日（土）	大阪マーチャングイズビル	新規就農支援策 農業法人の求人情報の紹介 就農支援資金について 徳島県の農業の紹介 就農までに準備すること等
平成28年7月16日（土）	東京国際フォーラム	
平成28年9月10日（土）	東京池袋サンシャイン	
平成28年11月12日（土）	東京池袋サンシャイン	
平成29年1月28日（土）	大阪マーチャングイズビル	
平成29年2月18日（土）	東京池袋サンシャイン	

3 就農支援資金の償還状況

農業技術を実地で習得するための研修に必要な資金（研修資金貸付金）、就農の準備に必要とする資金（準備資金貸付金）の回収を行いました。

なお、貸付事務については平成26年4月から日本政策金融公庫が行っています。

区分	28年度実績			
	件数	貸付金額(千円)	収納額(千円)	貸付残高(千円)
就農準備資金	1	(2,000)	181	362
計	1	(2,000)	181	362

() は25年度以前の貸付金額

[V] 生産・流通・販売総合支援事業

徳島県や JA 徳島中央会、JA 全農とくしまと設立した「とくしまブランド推進機構」において、農家所得の向上と農産物の生産拡大に向けた生産振興から流通改善、販路拡大に至る取組みを総合的に支援しました。

1 推進体制

コントロールタワーとして、活動を指揮監督する「統括マネージャー」と、各団体から出向した「エリアマネージャー（3名）」の計4名のチームを配置しました。

代表理事 —— 統括マネージャー —— チーフエリアマネージャー 1名
└—— エリアマネージャー 2名

2 活動実績

(1)生産振興対策

項目	業務名	事業実績
マーケットイン型 産地づくり	かぼちゃの生産 ザーサイの生産	栽培面積拡大 (1.6ha) 栽培面積拡大 (0.1ha)

(2)流通改善対策

項目	業務名	事業実績
新たな食材供給体制づくり	農産物流通調査等の実施 食材供給システムの普及	県内流通実態の取りまとめ 利用者数拡大 (50戸)

(3)販路拡大対策

項目	業務名	事業実績
新たな販路拡大	県外での徳島フェア開催 展示会を通じたPR活動 実需者等への商品提案 新商品の試験販売	徳島フェア開催数 (6回) 展示会出展数 (4回) 商品成約数 (8品目) 試験販売実施数 (3回)

(4)その他必要な対策

項目	業務名	事業実績
情報提供活動	阿波ふうど情報の発行 産地での研修会の開催	阿波ふうど情報発行数 (17回) 研修会開催数 (6回)
高級志向販路拡大	デパ地下での売り場確保 通販カタログへの掲載 通販サイトへの掲載	販売店舗数 (6店舗) 「ディノス」登録数 (5品目) 「日本きらり」登録数 (4品目)
魅力周知活動	バイヤー見学会の開催 県外での料理教室の開催	見学会実施数 (4回) 料理教室回数 (1回)

3 活動概要

(1)生産振興対策

①マーケットイン型産地づくり

- ・ かぼちゃの生産

「夏どり」と「冬至」かぼちゃの栽培推進を行い延べ 1.6ha の栽培が行われました。冬至かぼちゃでは病害が発生したため出荷量は少く、引き続き栽培推進を図ります。

- ・ ザーサイの生産

栽培特性を把握するため板野郡上板町で栽培実証を行い約 800kg / 8 a 生産しました。栽培特性が把握出来たので、今後規模拡大に向け栽培推進を図ります。

(2)流通改善対策

①新たな食材供給体制づくり

- ・ 農産物流通調査等の実施

県内の運送状況を把握するため、運送会社の徳島青果高速運輸協同組合と加茂谷運送株式会社に聞き取りを行い農産物流通の状況をまとめました。

- ・ 食材供給システムの普及

京浜地域への飲食店に食材を納入するシステム「SEND」の研修会を開催しました。

(3)販路拡大対策

①新たな販路拡大

- ・ 県外での徳島フェア開催

新たな販路拡大のため、県外で徳島フェアを4回（地域のカコレクション、みのりみのるマルシェ、つごもり市、たまプラーザ東急）開催しました。

- ・ 展示会を通じたPR活動

新たな販路拡大と県産農産物のPRのため、県外展示会3回（こだわり商談会、スーパーマーケットトレードショー、信連につぼん）に参加しました。

- ・ 実需者等への商品提案

販路拡大のため会社訪問し商品提案したところ、「れんこん」や「なると金時ペースト」など8商品で取引が行われました。

- ・ 新商品の試験販売

京浜地域飲食店の評価を得るため、「浜葱」や「きんかん」などテストマーケティングを3回実施しました。

(4)その他必要な対策

①情報提供活動

- ・ 阿波ふうど情報の発行
生産振興、流通改善、販路拡大をテーマに「阿波ふうど情報」の発行を17回行いました。
- ・ 産地での研修会の開催
実需者ニーズを産地に伝えるため、バイヤーなどを招いて生産者や指導者を対象とした研修会を6回開催しました。

②高級志向販路拡大

- ・ デパ地下での売り場確保
デパートの地下食品売り場で県産品の販売を広げるため流通業者などへの営業活動を行った。「ハウスみかん」や「白なす」などを6店舗で販売しました。
- ・ 通販カタログや通販サイトへの掲載
県産品の販売機会を拡大するため、ネット通販「日本きらり」や通販カタログ「ディノス」への掲載に向け取り組みました。ネット通販「日本きらり」では4商品が、通販カタログ「ディノス」では5商品が取上げられました。

③魅力周知活動

- ・ バイヤー見学会の開催
県産品の魅力を周知されるため、京浜地域のバイヤーに対し県内産地を4回案内しました。
- ・ 県外での料理教室の開催
県産品の魅力を周知するため、東京大手町 JA ビルで「春にんじん」を使った料理教室を開催しました。